



News letter vol.03

鳥取市では、将来にわたって公共施設を安心して使い続けていけるよう、施設の再編を検討しています。その取り組みとして、「地域のくらしと公共施設を考えるワークショップ」を用瀬地域では10月～11月に全3回開催し、「このまちでどんな暮らしをしていきたいか」、「そのためにどんな施設が必要か」を、地域のみなさんと一緒に考えました。

Topic 1 アイデアを膨らませよう！

ワーク1では、前回出した公共施設の使い方やあり方のアイデアを深掘りする作業を行いました。どうすれば人が集まる場になるのか、他の施設との役割分担はどうするのか、既存の利用方法との調整はどうするべきなのかななど、具体的になるにつれて様々な要素を考える必要があり、悩みながらたくさんアイデアを出し合いました。



Topic 2 提案の説明をつくろう！

ワーク2では、これまで考えてきたグループの提案を説明として言語化する作業を行いました。コンセプトや提案による地域への効果、実現に向けた課題などを改めて整理することで、提案をまとめていきました。また今後実際に動くための意識共有の時間にもなりました。



Topic 3 私にもできることを考えよう！

第3回 くらしと施設のすがたを みんなで描く

日 時：11/30（日）
14:00～16:00
会 場：用瀬保健センター
参加者：16名

Topic 3 私にもできることを考えよう！

ワーク3では、提案の実現に向けて自分にもできる小さなことを考える作業を行いました。関わる人が提案や地域のことを自分事として考えるきっかけとなりました。



Topic 4 全体共有

ワークショップの最後には、全3回の成果をまとめて他グループへ共有する全体発表を行いました。発表の中では、グループごとにエリアへのアイデアが深堀りされた内容や、公共施設の新たな使い方・あり方などがたくさん共有されました。同じエリアを対象にしていても、グループによって考え方は様々で、たくさんの人が関わる「まちづくり」の様子を感じるワークショップとなりました。

このワークショップは公共施設を、そして地域を考えるきっかけにすぎません。今後、行政と地域が協働してより良い用瀬町にしていく活動へ繋げていきたいと思います。

